

歴史を訪ねて

昭和28年4月12日に地域の女性843人によって、「比布村婦人団体連絡協議会」（初代会長 宮崎光）が誕生した。これまでの数々の取り組みにより地域に貢献してきた同協議会が令和4年3月22日の解散式をもって、68年続いた歴史に幕が下ろされる。

【交通安全マスコット】

毎年、新一年生に交通安全の願いを込めて手作りのマスコットが贈られていた。



【成人式】

初代会長の宮崎光さんが成人式で新成人に向けて激励の言葉を贈られていた。



【昭和45年2月18日 町内婦人研修会】

午前中は、保健師による衛生講話とフィルムフォーラムで「母の役割」、「おふくろ」の映画上映、午後からは中学校の谷越先生の指導により、美容体操をかねたフォークダンスの講習が公民館（現在の福祉会館）で行われ、約100人が参加されていた。

婦人活動の変せん

比布町における戦後の婦人活動のはじまりは、昭和24年に公民館婦人部（部長 曾我部ツルヨ）が婦人会の設立を呼びかけたとされている。同年8月に東園婦人会が初めて発足し、同年10月に中央婦人会（市街地区）が設立、戦後の婦人参政権の付与とともに女性の地位向上を目指して婦人活動がスタートした。その後も各地区で婦人会の結成が続ぎ、28年に町公民館で9単位婦人会の代表者が参加のもと、「比布村婦人団体連絡協議会」（現在の比布町婦人団体連絡協議会）の設立総会が開かれた。

その10年後の38年には、14単位婦人会が加入し、会員数は約千人となっていた。活動を広げた協議会は、「新生活運動推進部」「交通安全推進部」「婦人防火クラブ」などが設けられ、各種研修会や教養講座のほか、全町敬老会、成人式の協力や歳末助け合い運動などのボランティア事業など、多岐にわたり重要な役割を担っていた。また、福祉会館前に水銀灯（2基）や、役場庁舎落成時に屋上へ「愛の鐘」を寄贈し、時刻を告げるふるさとの鐘は長く町民に親しまれている。

その後も地域に多大な貢献をされた功績から、平成6年には町の百年記念式典で特別功労表彰を受けている。

（参考・比布町史）

発行・編集

ふるさと通信『ぴび』 令和4年3月2日発行（通巻第22号）

■発行 比布町

■編集 総務企画課まちづくり推進室広報係

〒078-0392 北海道上川郡比布町北町1丁目2番1号

☎0166-85-2111（代表） 0166-85-4802（総務企画課直通）

□ホームページ <http://www.town.pippu.hokkaido.jp>

□Eメール ichigo@town.pippu.hokkaido.jp



EXITが比布町をPR

まちの人口

総数 3,528人

男 1,655人

女 1,873人

世帯数 1,770世帯

■令和4年1月末日現在
住民基本台帳等登録数

比布町ふるさと通信「ぴび」は、比布を離れられた人と比布を結ぶ情報紙です。

みなさまから、町外で暮らしているご家族やご友人へお届けください。